

授業の実際 7 / 9

(1) 指導目標

音楽の仕組みを生かして音を音楽に構成することに見通しをもち、主体的に音楽をつくる学習に取り組むことができるようにする。

(2) 展開

過程	学習活動	教師の指導 (○)、支援 (●)、発問 (★) 児童の主な反応 (・)	評価規準と評価方法				
導 入	0 音楽遊びをする。 1 めあてをつかむ。	○リズム模倣をして、楽しく学習が始められるようにした。 ○初めて伴奏付きの音楽をつくることを伝えた。					
展	<p style="text-align: center; border: 2px solid blue; border-radius: 15px; padding: 5px;">つくりたい音楽のイメージをもち、和音の移り変わりに合う旋律をつくろう。</p> <p>2 音楽づくりに見通しをもつ。 (1) 伴奏を聴いて、それぞれの伴奏から、音楽のイメージすることについて考える。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>〈伴奏①〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・和音 ・付点四分音符と八分音符の軽快なリズム ・前奏付き <p>〈伴奏②〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・分散和音 ・シンコペーションのなめらかな音の動き ・前奏・後奏付き </div>	<p>○2つのパターンの伴奏を聴かせた。</p> <p>○2つの伴奏から、それぞれの音楽のイメージについて考えさせ、伴奏も音楽を特徴付けることに気付かせた。</p> <p>○和音を確認し、和音の移り変わりはどちらの伴奏も同じことを確認した。</p> <div style="border: 1px solid black; text-align: center; margin: 10px 0;"> <table style="display: inline-table; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="border: 1px solid black; padding: 2px 10px;">I</td> <td style="border: 1px solid black; padding: 2px 10px;">IV</td> <td style="border: 1px solid black; padding: 2px 10px;">I V 7</td> <td style="border: 1px solid black; padding: 2px 10px;">I</td> </tr> </table> </div> <div style="text-align: center; margin-top: 20px;"> <div style="border: 2px solid red; padding: 5px; display: inline-block;"> <p>発問の工夫①</p> </div> </div>	I	IV	I V 7	I	
I	IV	I V 7	I				
開							
<p style="background-color: #f0e6ff; padding: 5px;">★今から2つのパターンの伴奏を聴きます。それぞれの伴奏から、どのようなことを感じますか。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; width: 45%;"> <p>〔伴奏①〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・飛び跳ねる感じ。 ・元気な感じ。 ・付点のリズムが楽しい。 ・低音が力強い感じ。 ・後奏がなくて、歯切れよく終わっていて盛り上がっていく感じ。 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; width: 45%;"> <p>〔伴奏②〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・なめらかな伴奏。 ・旋律のような伴奏。 ・ゆったりした感じ。 ・静かさがある。 ・高い音が出ているので美しさが感じられる。 ・後奏があって、しんみりした感じがする。 </div> </div>							

発問の工夫②

- (2) 伴奏から感じ取ったことを基に、音楽づくりに見通しをもつ。
- 感じ取ったことを基に、どのような音楽をつくりたいか見通しをもたせた。

★どちらの伴奏を使って、どのような音楽をつくりたいですか。

〈伴奏①を使って〉

- ・元気が出てくるような音楽をつくりたい。
- ・朝の感じを表現したい。
- ・わくわくする楽しい音楽をつくりたい。

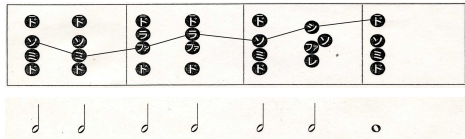
〈伴奏②を使って〉

- ・静かな海のイメージで音楽をつくりたい。
- ・夏の終わりの寂しさを表現したい。
- ・のどかな春の雰囲気音楽にしたい。

- (3) 音楽づくりの過程を確認する。
- 教科書を見ながら、音楽づくりの過程を確認させた。

- 3 和音に含まれる音を使って旋律をつくる。
- 本時は、二分音符で旋律をつくり、次時にリズムを工夫することを伝えた。

- (1) 階名を線で結ぶ。
- 二分音符で旋律をつくらせ、次時のリズムの工夫がしやすくなるようにした。
- 階名を線で結ばせながら旋律をつくらせた。



- CDを準備して伴奏を聴かせ、つくりたい音楽のイメージを膨らませリコーダーで演奏しながら音楽をつくることのできるようにした。

- (2) 互いに聴き合いながら旋律を工夫する。
- 二人で活動して、互いに感想や助言を伝え合わせた。


〈児童の感想・助言〉

- ・旋律の動きがゆるやかだったら、静かな感じになるね。
- ・最後の音を「ミ」にしたら、寂しい感じが出るね。後奏があるから、「ミ」で終わっても、まとまっているよ。
- ・伴奏に高い音が出てくるから、旋律にもサミングを入れてみよう。
- ・だんだん旋律の音を上げたら、盛り上がっていく感じになったよ。
- ・音の動きがはっきりしている方が、楽しい雰囲気になるね。伴奏に合った感じがするよ。

伴奏①
練習室
伴奏②
音楽準備室

音楽の仕組みを生かして音を音楽に構成することに見通しをもち、主体的に音楽をつくる学習に取り組もうとしている。

【関③ ワークシート・行動観察】

/ ま と め	4 全体で交流する。 5 次時の学習を知る。	●リコーダーでの演奏が難しい児童に対しては、指導者が演奏をして見せ、イメージをつかむことができるようにした。 ○互いに工夫したところを発表させた。 ○ワークシートは全員分を掲示し、友達の工夫を9時目の活動で生かすことができるようにした。 ○次時は、リズムを工夫することを確認した。 ○音楽の仕組みである反復や変化について振り返らせた。 反復・変化のつくり方  ここをクリック ○本時のめあてを振り返らせ、次時への意欲が高めさせた。	
------------------	---	---	--